



南町小だより

つよく かしこく あたたかく

平成30年11月30日

校長 福田 俊彦

慌ただしさの中でも

校長 福田 俊彦

「年末に向け世の中は慌ただしくなります。」「交通量も増えるので、・・・」「あなたのその一言が、子供の命を守ります。」「くりかえし教えてください。」「子供の目線で危険な場所を考え、・・・」これらの文言は、警視庁交通部から出された「交通安全情報」（平成30年10月）に上げられているものです。

年末の街の様子をどのように捉えているでしょうか。大人も子供も同じように捉えることが大切なことと考えます。南町小学校でも「自分の命は自分で守る」力をはぐくむことをめざし、安全指導を積み重ねています。危険を察知したり、危険を回避したりする判断や行動をとれるようにすることは喫緊の課題です。年末の街の慌ただしさの中、日常とは異なった刺激が生まれてきます。これは年末の風物といってもいいかもしれません。そこには、心をわくわくさせることもあります。そのわくわくが安全を土台としてのものであればと考えるのです。自分の安全を確保できる中で楽しむのであればと考えるのです。

今回は、交通事故から子供の命を守ることを取り上げていますが、子供が危険を察知し、回避できる力を身に付けていくことは、生活のいろいろな場面で自分を守る力にも繋がっていきます。

「交通安全情報」では、以下のことについて、くりかえし教えてくださいとあります。各ご家庭でも、ひとつひとつの内容について確認をし、お子さんに伝えていただくことをお願いいたします。

- ・車道への飛び出しや止まっている車両の前後からの横断は絶対しない。
- ・信号が青のときでも、左右の安全を確かめてから横断する。
- ・道路を横断するときは、横断禁止場所や斜め横断はせず、遠回りでも必ず横断歩道や歩道橋を渡る。
- ・トラックなど大きな車両の右左折時は車両の動きに注意する。
- ・自転車を利用するとき、一時停止の標識のある場所や見通しの悪い場所では必ず止まって安全を確かめる。
- ・自転車を利用するとき、必ずヘルメットを着用する。

慌ただしさが増す年末と言えども、日本がもつ年末の風景を大切にしつつ、また、その風景を味わいつつ、子供にとって安全でよりよい時の流れとなることを願っております。